

第4回 賀川豊彦シンポジウム

地域とくらし

今、女性の視点から考える

日時

2018年11月10日〔土〕
13:30—16:30

会場

早稲田大学
早稲田キャンパス 3号館

*教室は当日 3号館入口にてご案内します。

東京都新宿区西早稲田 1-6-1

<https://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus>

[参加申込み・問い合わせ]

参加申込みフォーム:

<http://www.tci.ac.jp/contact/kagawa>

またはファックス、メールにてお申し込みください。

FAX 0476-46-1292 E-mail: ntaka@tci.ac.jp

共立基督研究所 (担当: 高橋)

パネリスト

南部美智代

日本労働組合総連合会(連合) 副事務局長

山内明子

生活協同組合コープみらい 執行役員

堀田亜里子

全国農業協同組合中央会(JA 全中)
JA 支援部青年女性対策課長

コメンテーター

杉本貴志

関西大学商学部教授

コーディネーター

稲垣久和

東京基督教大学大学院教授

いま必要な、参加と協同によるくらしと地域づくり。
グローバル市場主義に抗する新たな助け合いの社会へ
NPO、市民グループ、協同組合・労働組合、行政など、
地域と社会にかかわるすべての皆さんと考えます。

共催: 賀川豊彦シンポジウム実行委員会、賀川豊彦記念講座委員会、早稲田大学先端社会科学研究所、
明治学院大学キリスト教研究所 賀川豊彦研究プロジェクト

協賛: 一般社団法人日本協同組合連携機構(JCA)、日本協同組合学会、賀川豊彦学会、キリスト新聞社、
東京基督教大学共立基督研究所 公共福祉研究センター

2015年にスタートした賀川豊彦シンポジウムは、今回で4回目を迎えます。

第1回では、日本の社会事業家、賀川豊彦・ハル夫妻が行った膨大な事業の再評価、続く第2回・第3回では賀川が中心的に取り組んだ労働組合・協同組合などの「助け合い」の社会づくりが今日改めて重要になっていることを確認しました。

第4回のテーマは、私たちにとっての具体的な生活の舞台である「地域と暮らし」です。

賀川豊彦(1888-1960)は、救貧から防貧へ、人びとが自分たちで参加して助け合う相互扶助の仕組みを、農村、漁村、都市など各地域でつくり出すことに精力的に取り組ましました。新自由主義がグローバルにいきわたった現代社会で、私たちはどのようにして各地域の課題に自発的に取り組み、暮らしを変えていくことができるでしょうか。本シンポジウムでは、労働組合・諸協同組合を中心に女性の視点から地域と暮らしの“困りごと”に取り組んできたパネリストを迎え、参加と協同が生み出すこれからの超高齢化社会の、世代を越えた人と人のつながりを考えます。

広く助け合い、および「友愛と連帯」による下からの市民社会づくりを願う皆さんの集集を期待いたします。



神戸川崎・三菱造船所労働争議でデモの先頭に立つ賀川豊彦(右)。

第4回 賀川豊彦シンポジウム

地域と暮らし

今、女性の視点から考える

賀川豊彦、新渡戸稲造らによって日本で初めて協同組合によってつくられた中野組合病院(昭和7年設立。現・東京医療生活協同組合新渡戸記念中野総合病院)の待合室風景。



パネリスト



南部美智代 (なんぶ・みちよ)

日本労働組合総連合会(連合)副事務局長。1983年大阪市役所入職後、1994年より大阪市従業員労働組合書記長、2006年より自治労執行委員を経て2013年より現職。大阪市在職中には、市民病院、老健施設に勤務し介護福祉士の資格取得。公共サービスの質の向上をめざし労働組合での運動に参画してきた。2012年には明治大学大学院ガバナンス研究科修士課程修了。専従期間7年のため2012年に大阪市は退職。



山内明子 (やまうち・あきこ)

生活協同組合コープみらい執行役員。1983年日本生協連に入協。国際部長・組合員活動部長を経て2007年より組織推進本部長。2010年より執行役員(組織推進本部長 2015年1月まで)。2015年3月コープみらいへ出向し、福祉事業を担当。2018年1月コープみらいへ移籍し、現職(コミュニケーション・CSR推進担当)。



堀田亜里子 (ほった・ありこ)

全国農業協同組合中央会(JA全中)JA支援部青年女性対策課長。1991年4月、全国農業協同組合中央会入会。1999年10月第22回JA全国大会プロジェクト、2006年8月営農・経済事業改革推進部営農・担い手対策室の安全・安心対策室長、経営指導部JA経営情報課長、2016年組合員・くらしの対策推進部女性組織対策室長を経て、2017年8月より現職。

コメンテーター



杉本貴志 (すぎもと・たかし)

関西大学商学部教授、関西大学なにわ大阪研究センター長。生協総合研究所客員研究員等を経て現職。協同組合論専攻。編著に『格差社会への対抗 新・協同組合論』(日本経済評論社)、共訳書にジョンストン・バーチャル『コープ ピープルズ・ビジネス』(大月書店)など。くらしと協同の研究所『季刊くらしと協同』編集長をつとめる。

コーディネーター



稲垣久和 (いながき・ひさかず)

東京基督教大学大学院教授、共立基督教研究所長。東京立大学大学院博士課程後期修了。アムステルダム自由大学哲学部・神学部客員研究員、同客員教授等を経て現職。専攻は公共哲学、キリスト教哲学。著書に『実践の公共哲学』(春秋社)、『「公共福祉」という試み』(中央法規出版)、『宗教と公共哲学』(東京大学出版会)、『国家・個人・宗教』(講談社現代新書)、『キリスト教と近代の迷宮』(春秋社、大澤真幸との対談)他がある。

前回のシンポジウムの様子は
<https://www.youtube.com/watch?v=SFuTdrVKrN8>
からご覧いただくことができます。